

## 第12回福島問題予備研究会 議事録

日時：平成28年2月9日（火） 15:00～17:30

場所：化学工学会会議室

出席者：横堀、小林、橋本、中尾、松井、松田、中代、鈴木（記録）（敬称略、順不同）

資料：1) シニアケミカルエンジニアがみる廃炉への道（小林）  
2) 電中研訪問メモ、Dropbox（橋本）収載、参照  
3) FFYKK 報告横堀2月、Dropbox（横堀）収載、参照  
4) FFYKK 提案、Dropbox（横堀）収載、参照

### 1. 新会員紹介

松田宏康、中代雅士両氏がオブザーバーとして出席した

### 2. 連絡報告事項

（小林）第81年会シンポジウムの概要と発表の内容紹介がなされた。

（橋本）1月18日、電中研幹部を訪問、吸着材関係、他に関し意見交換、情報収集した。

（横堀）技術士会、原子力学会、放射線教育フォーラム、等での情報について報告した。

### 3. 討議（テーマ：平成28年度活動をどうするか？）

\* 成果の形では出てこなかったが。活動を止めるのは勿体ない、継続したい。

1) 恒久設備として材料はどうあるべきか、

2) 廃炉に伴う化学工学的な技術アプローチは何か、など

\*とにかくシニアケミカルエンジニアとして継続したい。

\*シニアとして廃炉工学、出前講座、要員養成、**デブリの処理**等への寄与を目指すべき。

\*化学工学視点より見ての問題点等、HP等を通して世の中に提示して行くべき。

\*各大学で立ち上がりつつある「廃炉工学」へカリキュラム作り等で**寄与できないか**。

\*デブリ取出しのキーテクノロジーのレーザー加工、切断技術等について勉強したい。

→（結論）

\*HP等を通して、一般向けに問題点の明確化、解決のポイント等を解説、発信する。

\*関連学協会との連携、関係機関への働きかけ等を通し、福島復興への貢献を模索、継続して実施する。

\*公開講座、出前授業、オープンカフェ等を通し社会との接点を探る。

次回予定 平成28年3月25日（金）15:00～17:30 化学工学会議室

以上